

開催月日 : 2024年 9月 24日

2024年度第1回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時 間	am / pm 10:00		am / pm 11:00		場 所	かんだ連雀2F
議 長	名倉 勇気				書 記	渡嘉敷 和也
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係:●●●●様 ○千代田区社会福祉協議会:●●●●●様 ○千代田区高齢者あんしんセンター:浜田誠(神田地区) ○医療機関:●●●●様(三楽病院) ○医療機関:●●●●●様(杏雲堂病院) ○医療機関:●●●●様(ナースステーション東京 文京支店(連携)) ○医療機関:●●●●様(訪問看護ステーション けせら(連携)) ○地域住民の代表者:●●●●様 ○知見を有する者:●●●●様(ライズケア) ○知見を有する物:荒勝和枝、保坂美加(神田居宅) ○指定事業者 かんだ連雀いつでもサポートサービス:中村小夜子、名倉勇気、尾崎正紀、 渡嘉敷和也					
議 題						
確認事項	議長					
	出席者					
会議内容	①開会の挨拶 かんだ連雀:名倉勇気					
	②取り組み事例発表 かんだ連雀いつでもサポートサービス:尾崎正紀、渡嘉敷和也					
	③ご出席者皆様よりご意見・講評					
	④閉会の挨拶 かんだ連雀:中村小夜子					
保留事項						

詳 細
①開会の挨拶
かんだ連雀：名倉勇気
○いつも定期巡回サービスにご尽力いただきありがとうございます。
これより、今年度第1回目の連携推進会議を始めさせていただきます。
②取り組み事例発表
「定期巡回サービスと他サービスとのつながり」をテーマに発表する。□
今回はかんだ連雀ホームヘルプサービス(訪問介護)の自費サービスを利用されていた2名の利用者が定期巡回に移行したケースをテーマに発表。まずナースステーション東京文京支店様から意見をいただく。
次いで中村次長、荒勝CM、ライズケア、浜田センター長、訪問看護ステーションけせらご意見をいただく。
●ナースステーション東京文京支店 □
○Aさんのことについてですが、「統合失調症」とのことであるが症状のコントロール等はどのようにおこなっていたのか？
(かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎) □
○ご本人に寄り添うと言う形で関わっており、薬の力は使用していない状態です。
●ナースステーション東京文京支店 □
○薬は処方されているが飲んでいないのですか？
(かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎) □
○元々の処方もなかったです。その時々の下剤や整腸剤等の処方されましたが服薬拒否されていた。
ご本人が薬を見ると「これは毒だ。」と言われ、服用ができていませんでしたが自分のお腹が苦しくなったりすると通院されたりしていたが、保険証を持たずに行かれてしまっていました。
これを何度も繰り返し、訪問診療が入ったと言う経緯がございます。
●中村次長□
○A様に関してですが、元々他人の手を借りるとか介護保険のサービスを使うとか、そこまで行くまでに地域ケア会議が何度か開かれているように、入っていくまでに中々難しい方。又入ってからも、こだわりや

好き嫌い等、様々な様子から援助に入っていくことにも中々大変な方であった。
定期巡回までにこぎ着けたところは、自費サービスで少しの時間だけでもお手伝いさせていただく、一緒に行っていくことを始めて約3、4年長い期間をかけて、やっと定期巡回で訪問できるようになりました。
介護保険のサービスが全て使えるではなく、その前に自費サービスで関係を構築してから、やっと援助に入れるようになりました。
(かんだ連雀いつでもサポートサービス:尾崎)□
○A様は当初は依頼人の後見人の方から毎日援助に入ってほしいとの要望がありましたが、ご本人の拒否が強すぎて、毎回援助に行くも部屋にも入れてくれませんでした。対応策として2週間に1回でもいいと訪問する回数を減らして、行ける回数を固定して掃除だけやらせて下さいと言う形で入っていた。その際、たまたま体調を崩されて外出ができないと言うタイミングで毎日援助に入るようになり、ヘルパーとの関係性を構築していきました。このことから自費サービスがなければ、A様との関わり合いも難しかった。毎日入るにしても定期巡回サービスでないと、訪問介護であると決まった時間でやる内容も決まっていて、リトライができない状況であります。定期巡回サービスにより自由度が増し、利用者様の状況に合わせて再訪問であったりとか訪問回数を加減したりと対応し、援助は続けております。
■神田居宅介護支援センター:荒勝CM□
○A様・B様共に、決まったヘルパーが対応しているのか、その時々で対応ヘルパーは変わるですか？
(かんだ連雀いつでもサポートサービス:尾崎)
○B様に関しては、どのヘルパーでも拒否はないが、自立されている気持ちが強く、「毎日来なくていいよ。」との事で、朝の電話の援助を始めるようになった。実際の訪問は週3回であったりとヘルパーへのこだわりはない方。しかしA様に関しては、拒否が強く、男性ヘルパーはダメで、女性ヘルパーでもこの人はいいいけど、この人はダメとのダメ出しがあった。現時点では受け入れはできているが援助に入れないヘルパーはいます。男性ヘルパーに関しては、後見人との立ち合い等や女性ヘルパーと援助の際に一緒に訪問し、顔を覚えていただくようにしています。仮に随時訪問等で男性ヘルパーのみの対応になってしまうことになってしまっても、ご本人へ「今回だけなのですみません。」と説明することで納得していただき、入室することは可能です。

●ライズケア
A様に関して、最初から要介護2であったから介護保険で入ろうと思えば入れたと思います。
最初、自費サービスで対応しようと思ったのは、訪問しても拒否されるからなのか、拒否されるから何度か訪問し対応できた時に報酬が出るから自費サービスで対応することになった経緯は何ですか？
(かんだ連雀いつでもサポートサービス:尾崎)
実際には、要介護がついたのは2010年7月なのですが、その前から関わらせていただいていたので、介護認定の前から関わっていました。A様に限って、介護度がついてる・ついていないではなく、□
ご本人の受け入れ状態。何回か訪問させていただいてサービスが始まる前から、既に援助は難しいと感じていたもので、まずは自費サービスからと言う形で後見人の方に相談しながら決めさせていただきました。
●高齢者あんしんセンター神田:浜田センター長
A様とB様は包括支援センターで関わっていた利用者。A様・B様に限った事ではないが、B様は要支援が□
出ていたが、自費サービスから始めている…と言うケースは結構ありまして、定期的にケアマネジャーや
人との関わりを良しとしない方は沢山います。ただし「ピンポイントだけ手伝ってもらえれば良い。
毎月訪問するものは鬱陶しいので嫌だ。電話をされても困ってしまう。」と統合失調症の方はその傾向が
強く出てくる。1番最初に関わるあんしんセンターは、時間を要して関係を作っていきますが、ここで関係を
作りすぎてしまうと次に繋がらない言うパターンもある。やはりこれも統合失調症の方が多いが
「あんしんセンターのあなたがやってくれればいい。」と訪問介護や訪問看護のサービスに繋がらず、
うまく繋げるために距離感を保ちながら、最初は自費サービスを選択されるケースは多い。□
B様も自立心が非常に高く「自分で何でもやるんだ。」と、80歳後半でも頑張っていたが、傍から見ていると
リスクが高い生活をされていた。初めは要望されていた掃除の援助を、ご家族の合意を得て自費
サービスで援助の切り口として対応していくことになった。
(かんだ連雀いつでもサポートサービス:尾崎)
B様ですが、自費サービスで入るようになってからも定期巡回サービスで対応することになっても援助内容は
ほぼ変わっていません。ご本人のADL自体は、元々1人で外出もできていたが転倒があったり、浴槽での
事故があったりで、現在は殆ど1人での外出はしなくなりました。室内では今まで通り過ごされている。
看護が入るまで中々辿り着かず、御家族は定期巡回サービスになり、看護もセットで入ることになり
安心感を得たいとのご希望がありました。本来は毎日援助に入りたいところですが、ご本人の自立心が強く、

電話連絡での服薬確認・安否確認のみで援助を終える時もあります。ADLは高いが、徐々にご本人も不安に感じるところが出てきており、対応したヘルパーに「今日は足の調子が悪い」「今日は風邪っぽい」と少しずつご本人の状態をお聞きしたところで、訪問看護へ繋がて行く形で、今のところ総合的なサービスを行えているものと思います。

●訪問看護ステーションけせら

当方の事業所でもまだ2年目ですが、定期巡回サービスを始めています。定期巡回のサービスに関して、□介護保険があるからではなく自立して生活したい・人の手を借りたくないけど、少し手伝ってもらいたいと言う微妙なところに介入しつつ、尚且つ、A様・B様が定期巡回サービスに繋がっているサービスで、看護等も見据えていると言うのが本日の研修でわかりました。□

お金の部分が中々自費でサービスに入りました。サービスが必要であるからお金を支払いますと言うのが比較的スムーズかと思うのですが、特にA様の場合は、後見人の方が付いていることも含めて自費で介入しますとの苦勞がどのようであったのか。定期巡回と自費のすみ分けを知りたい。□

(かんだ連雀いつでもサポートサービス:尾崎)□

A様・B様共に裕福な方で制限なく、サービスを利用させていただいています。しかし、その他の利用者で「お金はあまり無いが自費サービスも併用して利用したい。」と言われる方も実際にはいらっしゃいます。

特に通院同行の院内の援助を希望される方が多いが、定期巡回では院内の援助はできないため自費サービスをプラスして通院同行をさせていただいております。自費の回数が増えてことにより、負担も増えてしまっている。A様・B様以外の方で、定期巡回であったが訪問介護へ移動して、訪問回数を減らし、その減らした部分を自費サービスとして粘質している方もいらっしゃいます。

万が一、体調等で急変が見られた際は、定期巡回へ再度戻られる可能性はあるも、その方は「お金の負担」が大きく訪問介護の方を選らば、日常的なことは訪問介護で行い、自費サービスを利用し通院援助をセットで行う形をとっております。□

次に定期巡回と自費サービスのすみ分けですが、定期巡回も介護保険サービスの1つになりますので基本的には介護保険の縛りが適応されております。そのため、適応外となる大掃除や介護保険外のサービスは自費サービスで行い対応させていただいております。

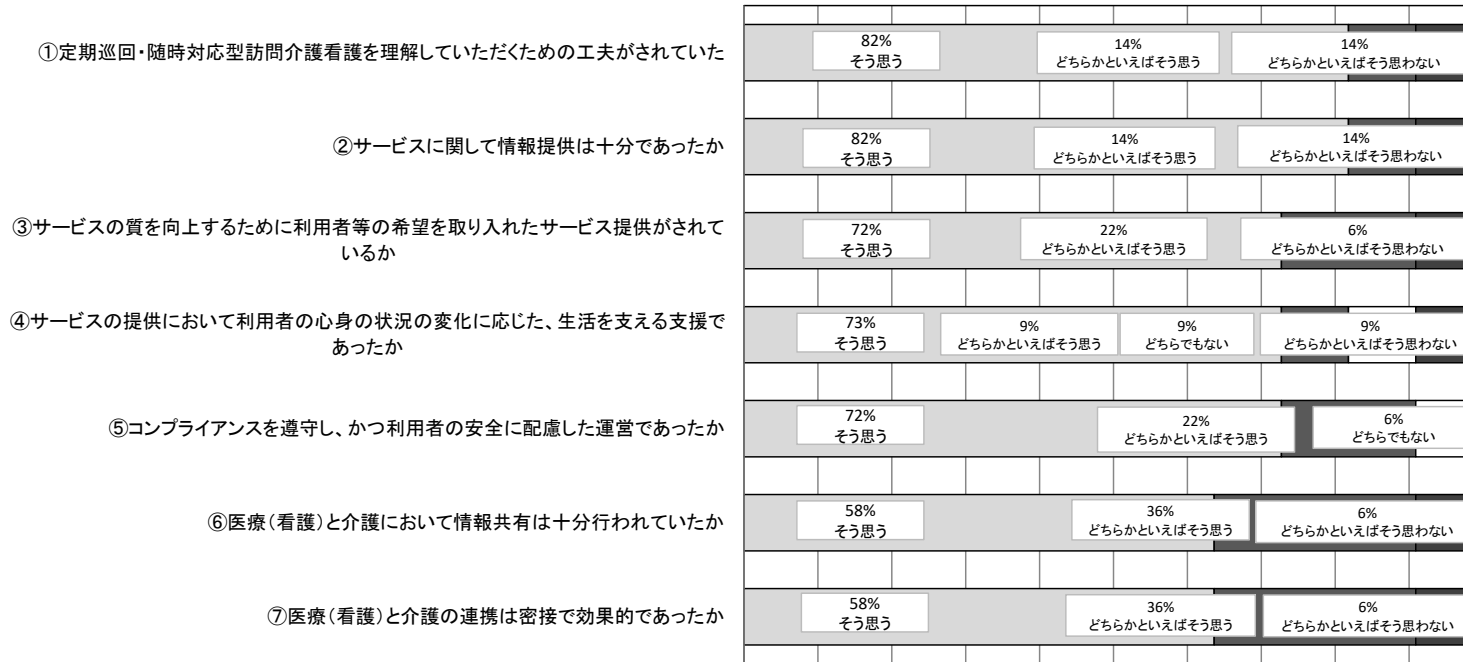
かんだ連雀いつでもサポートサービス:中村小夜子

○本日はありがとうございました。今日は2名の事例を通して、かんだ連雀の定期巡回と訪問介護を一緒にやっているんですけども、その中で自費サービスを利用してから定期巡回へ移行された事例を報告させていただきました。皆様から頂いたご意見は、これからの事業運営に生かしていこうと思いますのでありがとうございます。地域の方との関わりも大事になってまいりて、サービスに入っている地域の方とも接して、関わることは他の事例でもございます。地域の方に私たちがどのようなサービスを行っているか知っていただくという意味でも、この会議の目的となっております。

本日、参加していただいた皆様が1つのチームとなって動いていく事業であるなと思っております。

2024年度 9月 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 かんだ連雀いつでもサポートサービス 事業評価結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



⑧ご意見、ご要望など：

●今回は定期巡回サービスを導入するまでの経緯が良くわかりました。こちらのサービスを利用する上での注意点を教えていただけると幸いです。

●在宅での療養者にとって、とても意味のあるサービスであることを再認識できました。

●社会から孤独して「死」を迎えることなく、誰かが関わる「病院での関わり」ではできないことを時間を積み重ねて、皆さんがやっていることを、これからも共有させて下さい。